



エキノコックス対策の現状

～エキノコックス駆除に着実な効果があらわれています～

ニセコ町でH21年度より行っている、エキノコックス（寄生虫）の駆除の状況や、現状の報告などについて、下記の通り町民講座を行います。

町では、H21年度から「ニセコ町エキノコックス駆除対策推進員」の皆様ボランティアでご協力いただき、春から秋にかけて月1回、エキノコックス駆除のためベイト（薬剤の入ったキツネのえさ）の散布を行いました。

その結果、散布作業前の平成20年のニセコ町での抗原陽性率（キツネの糞にエキノコックスの卵が存在していた痕跡がある）が約33%でしたが、**H23年度は4.1%まで低下し、着実な効果がみられています。**

人への感染が心配されるエキノコックスは、1980年代には全道に広がっていることが確認され、最近では飼い犬を通じた人への感染も心配されており、正しい知識を持って対処していくことが、一層求められています。

ぜひ、この機会に、ニセコ町での取り組み状況や予防方法などのお話を聞いてみませんか。

とき 4月27日（金）午後6時30分から7時30分まで
ところ ニセコ町民センター 2階研修室2



プログラム

18:30	講演 『ニセコ町のエキノコックス駆除の取組と効果』 講師 神谷正男 さん（北海道大学名誉教授） 質疑
19:30	終了

申込不要です
気軽にお越しください！

参加無料

講座終了後にエキノコックス対策推進員の皆様と講師との意見交換会を1時間程度行う予定です。ボランティア活動に関心のある方は合わせてご参加ください。



主催 ニセコ町
お問合せ ニセコ町保健福祉課
担当 山本・青木 電話 0136-44-2121
E-mail : kenko@town.niseko.lg.jp

**裏面のエキノコックス駆除
方法についてもご覧ください。**

■エキノコックス駆除方法とベイト(キツネのエサ)について

1. エキノコックスの駆除は、ベイトと呼ばれる虫下しのエサを道路沿いに散布する方法で行います。散布したベイトは、縄張りを持つキツネに食べさせることが目的です。
2. ベイトを食べることによって、キツネの体内からエキノコックスが排出されます。ベイトを食べてもキツネは死にません。
このため、健康になったキツネが自分の縄張りを守るため、エキノコックスに感染したキツネの進入を防ぐこととなります。
3. ベイトは、虫下し入りの薬剤(プラジカンテル)を魚のすり身に混ぜて作ります。ベイト1つの大きさは消しゴム大です。
4. ベイトは道路沿いに、約100m間隔に1つ散布します。犬や人間が食べても健康に影響はありません
5. ベイトは5月から月に1回のペースで11月まで、計7回程度散布します。
なお、散布数は1回約1,500個です。
6. 10月頃に町内のキツネの糞を採取し(約100個)、エキノコックス感染の減少状況を把握。



ベイトと呼ばれるキツネのエサ

■ボランティア募集中！！

ニセコ町では、ベイト散布作業をボランティアの方にご協力をいただいています。現在15名の方が登録され、月1回の作業を交代で行なっています。ニセコ町でとりにくんでいるエキノコックス対策をご理解いただき、普及活動にご協力いただける方を募集します。

活動内容

- ① 2人1組でベイト散布作業を行います。(所要時間は2時間程度。当番を決めますので、7か月間で1人あたり1回~4回)
- ② 地域の方へ町のエキノコックス対策や予防などを勧めます。
詳しくは担当者へ4月26日までにお問合せください。

感染予防対策は？

- その1:キツネに触れたり、餌付けはやめましょう。
- その2:山菜はよく洗うか、十分に加熱してから食べましょう。
- その3:飼い犬の放し飼いはやめましょう。犬は野ねずみを食べて感染します。
- その4:5年に一度のエキノコックス症検診を受けましょう。
(9月に実施します。重点地区は曾我、ニセコ方面の方です)